

2016年2月18日

## 第206回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会の議事録

部会長 村山元理

第206回例会 2月15日(月) 18:00-19:00 308室

参加者；佐藤、宇佐神、古山、山本、辻井、長塚、望月、新川、村山の9名

欠席届：竹内、緒賀、遠藤、井上、増澤

研究報告 「金子武蔵『倫理学概論』（1957年）の示唆」 宇佐神正明 18:00-19:10

- ・事前に配信の資料3点・資料1点（「古川編 倫理学」）,
- ・レジュメ2枚（報告概要、金子武蔵の伝記（ウィキペディア））

- （概要）
1. 『倫理学概論』の背景と課題—概論ではなく原論。
  2. 金子倫理学
  3. 21世紀の課題

金子[1905-1987]の直弟子である宇佐神が『倫理学概論』の背景問題を解説しながら、21世紀のあるべき倫理課題について構想を出そうという壮大な試み。金子教授は東大倫理学講座の主任で、和辻哲郎の後に主任を襲う。金子の妻は西田幾多郎の4女。ヤスパース協会会長、日本倫理学会会長。鈴木商店の大番頭金子直吉の二男で、学問的鬼才とされる。1987年逝去する2か月前に宇佐神にICUで「マルコ伝」を大学院で読んでいたとのこと。

（質疑応答）

古山：倫理学 ethics とは近代以降。規範倫理と形而上学がある。現実問題から出発する。アリストテレスのニコマコス倫理学は古代で、現代的に徳倫理と持ち上げられた。

新川：ヘーゲルの影響も？ しかり。

- ・新年会 19:20~20:40 サイゼリヤ 神保町店

今後の日程（毎月第3月曜日）

第207回例会 3月28日（3月は第4月曜日に変更） 18:00-20:00 308室

「金子武蔵『倫理学概論』（1957年）の示唆」（続） 宇佐神正明